

令和9年度予算編成方針

～AIを活用したパフォーマンスの向上～

政策創造課

財政課

グリーン資産創造課

スマートシティ推進課

第1章



本市を取り巻く課題



本市のこれまでの
取り組みと成果

本市を取り巻く課題

自然災害



人口減少



インフラの
老朽化



世界情勢の悪化による
原油等の供給が不安定



物価高騰による
消費活動の停滞



本市のこれまでの取り組み



① 市民サービスの向上

- ・行かない窓口
- ・子ども医療費
- ・保育、教育環境の整備



② 人口減少対策

- ・人口減少対策パッケージ
- ・保育現場充実パッケージ



③ インフラ整備

- ・水道管老朽化対策
- ・桑名駅周辺整備



④ 公共施設マネジメント

- ・老朽化施設の解体・売却
- ・シェアリング



⑤ 国際戦略

- ・多文化共生社会の推進
- ・留学支援
- ・国際交流



⑥ 稼ぐ改革

- ・企業誘致
- ・収納率向上

これまでに取り組みと成果①：市民サービスの向上（窓口改革）

行かない・書かない窓口

オンライン
(Anywhere)



コンビニ交付10円
(R7年11月～)

スマートフォンで完結

ワンストップ
(Effortless)



書かない窓口

1カ所でまとめて受付、1回署名するだけ

リモート
(Connected)



遠隔手続き

出先機関と本庁をオンライン接続

順次拡大予定
(約160手続き)

これまでの取り組みと成果①：市民サービスの向上（子育て世帯へのサービスの充実）



子育てリフレッシュ事業

0-2歳の子どもを育てる保護者に
リフレッシュや一時預かりなどに
利用できる電子チケットを配布



子ども医療費助成

高校生まで医療費窓口負担なし

子育て世帯の定着環境整備につながる。

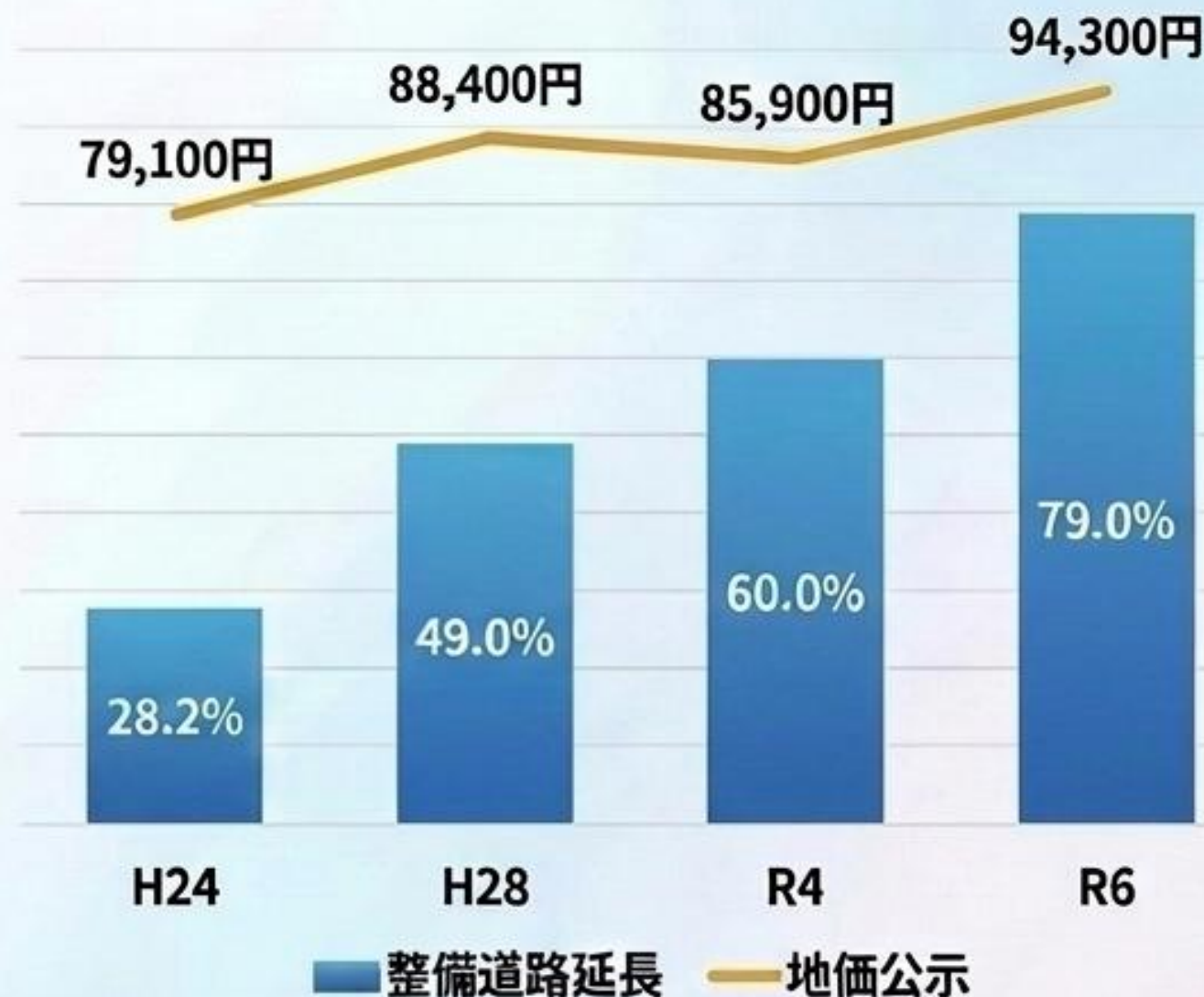
これまでの取り組みと成果②：人口減少対策（出生数の増加）



これまでの取り組みと成果③：インフラ整備（桑名駅西土地区画整理事業と道路整備）



整備道路延長と地価公示の推移



道路整備によって住み良さが高まり、地価が上昇

これまでの取り組みと成果④：公共施設マネジメント（第1次アクションプラン）

公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設マネジメントの推進

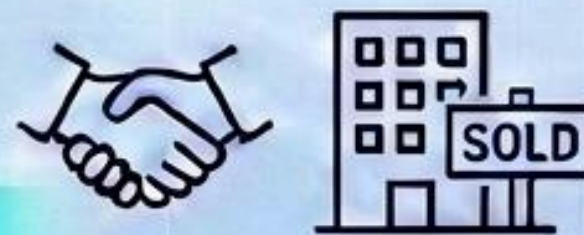


解体

桑名南医療センター、
大山田地区市民センターなど

29,216m²

延床面積削減
目標の100.6%を達成



売却

サンファール北館駐車場など

持続可能な施設運営による市民サービスの提供

これまでの取り組みと成果⑤：国際戦略（多文化共生及び人材育成）

外国人支援コンシェルジュ

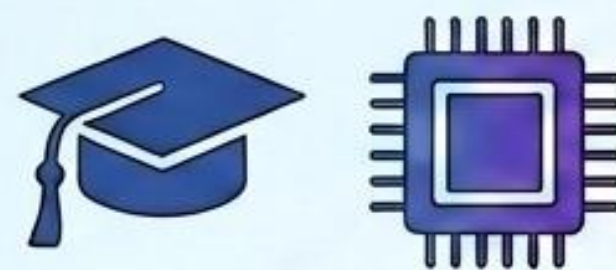


5,330件の利用 (約450件/月)

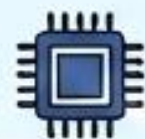


多言語（ポルトガル語・ベトナム語）でのSNSライブ配信

留学支援 & 台湾ミッション



留学支援：2年間で約100名の学生が海外へ（R7年度65件交付）



台湾ミッション：世界第3位の半導体企業(UMC)や国立陽明交通大学と連携、半導体人材育成

これまでの取り組みと成果⑥：稼ぐ改革（企業誘致）

立地協定数



H30	1社
H31/R1	3社
R2	0社
R3	8社
R4	2社
R5	5社
R6	4社

固定資産税累計



固定資産税の増加と雇用の創出

これまでの取り組みと成果⑥：稼ぐ改革 (公共施設の電気料金削減とCO2削減)



委託契約



最適な事業者を選定



※ESP方式とは、市が指定した民間の事業者が電力調達を一括して管理し、最適な小売電気事業者を選定する方式。



【カネの最適化】



電気代（委託料金を含む）を
年間**6,600万円**削減



【環境への配慮】



再生可能エネルギー電気30%導入
→ **CO2を年454t削減**
(スギの木約32,400本分)

電気料金削減によって市民サービスの充実へ

これまでの取り組みによる主な成果（総括）

- ・市民サービスの向上

- ・インフラの強化

- ・市税収入の増加

**しかし、物価高騰や気候変動など
新たな課題や変化が生まれてくるなか、
市民の皆さまがwell-beingを実感できるよう、
さらなる成長を遂げる必要がある。**

第2章

新たな挑戦に向けた
予算編成

1

持続可能な未来への
好循環に向けて

2

「ハイブリット型行政」へ

3

縦割りから統合された行政へ

予算編成方針①：持続可能な未来への好循環に向けた取り組み

住みやすいまちの好循環

働きやすさと時短の好循環



この2つの柱で好循環を創出し、成長につなげる

予算編成方針②：～ハイブリッド型行政へ～

「ソリューション型（課題解決）」

目の前で起きている事象へ確実に対処する

AIの活用

「先手必勝型（予測・予兆）」

これから起きることをデータで予測し、先回りして介入する

【ハイブリッド型行政】

両輪で進める

どちらか一方ではなく、これら両方に力点を置き、同時並行で推進していく。

予算編成方針③：～縦割りから統合された行政へ～

分野の壁を越えてあらゆるデータを掛け合わせ、隠れたリスクや予兆を可視化する。

「縦割り行政」

【税データ】

【福祉データ】

【経済データ】 etc.

AIによる横断的な分析・統合

【情報共有】

統合された行政へ

（各部署が独立管理し、一見関連性が見えない状態）

（先回りの事業立案で市民のWell-Beingを実現していく）

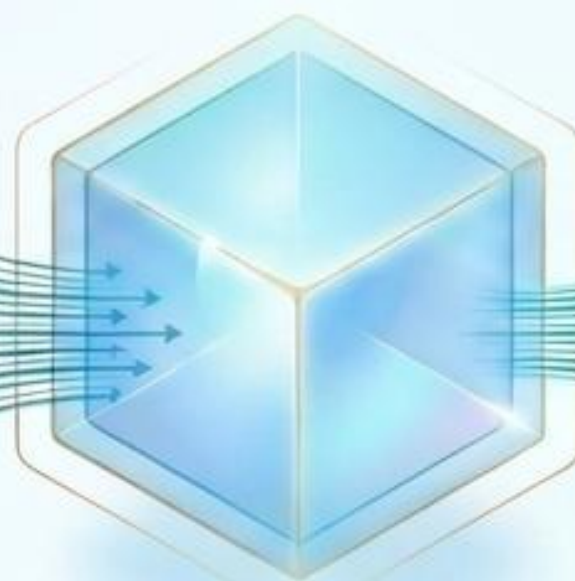
AIを活用した事例①（事務の効率化）

The Before

あいさつ文、会議録、答弁書の
作成に時間を奪われる



AI Brain
処理能力



AIを活用して、職員の業務負担を軽減し、
新たな時間を創出させる

The After

AIと共生し、職員にしかできない
企画立案へシフト



AIにできることは任せて、市民サービス向上のためのチャレンジを実行する。

AIを活用した事例②（電話業務の見直し）

総務課

フロントエンドの効率化



IVRy (自動音声応答) - 標準ルーティング

電話交換業務の軽減を図る。
単純作業を自動化し、本質的な
業務への集中を実現。

スマートシティ推進課・ 消防本部

柔軟な働き方の実現



クラウドPBX - 場所を問わない受発信

フリーアドレスに対応。固定電
話に縛られない機動的な業務環
境と空間の有効活用を促進。

債権管理課

専門業務の負担軽減



クラウドPBX - 録音機能・文字起こし機能

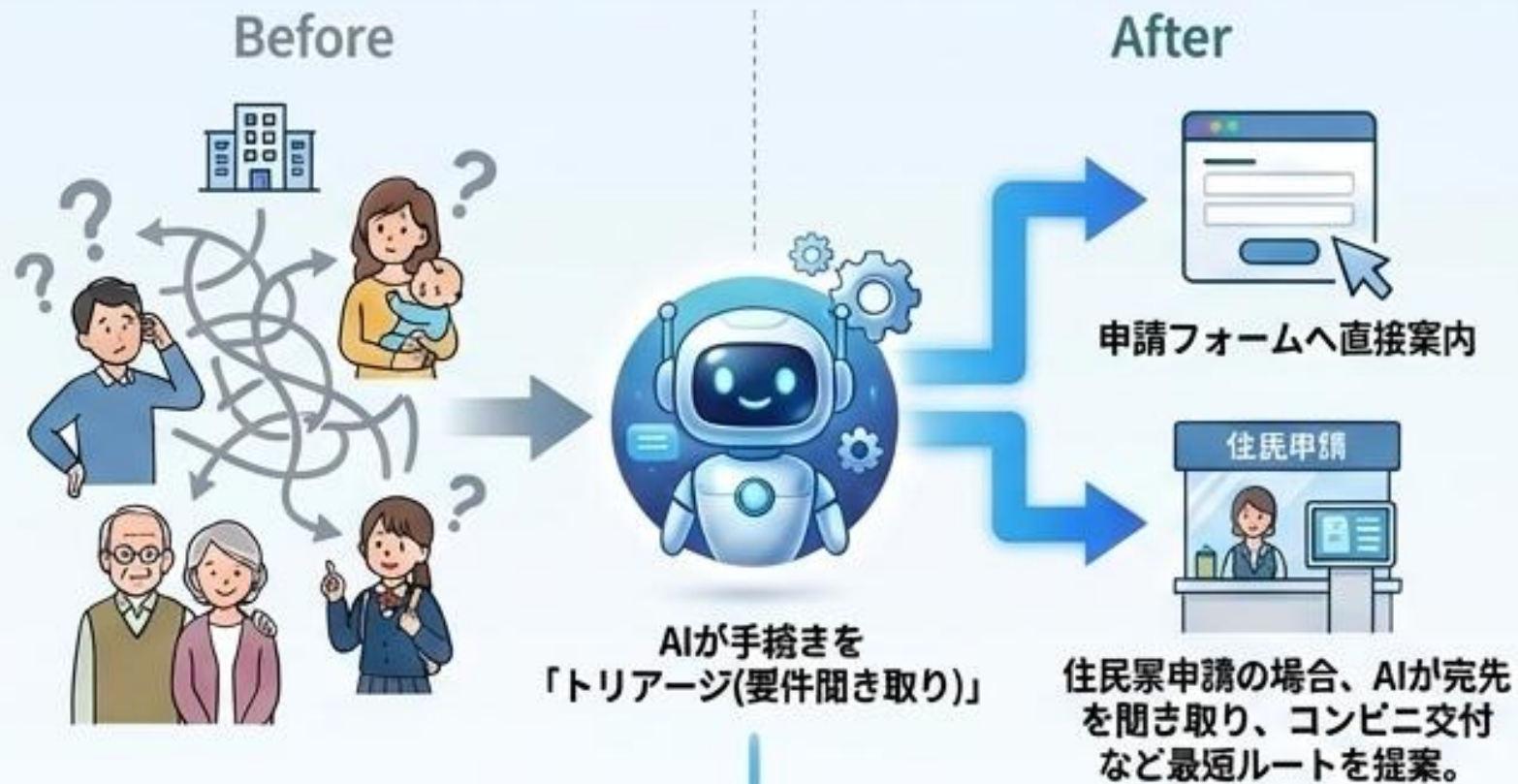
業務負担軽減。困難案件における
正確な記録保持と、職員の心理
的・物理的負担を劇的に改善。

全庁的な電話のあり方を見直し、設備面・機能面の双方から検討する。

AIを活用した事例③ (窓口改革等による市民サービスの向上)

解決策：AIが案内人となり住民を導く

AIによる手続き案内の劇的变化 (Before/After)



「横断シナリオ」で複数の課の手続きを一本化

導入効果：住民と職員、双方にメリットが生まれる

電話問い合わせ
件数の削減



職員が企画などのコア業務に
集中できるようになった。



住民の待ち時間ストレスが解消され、
満足度が向上した。

窓口の平均滞在時間を
短縮



住民の待ち時間ストレスが解消され、
満足度が向上した。

24時間365日、
多言語での案内が可能に



日中忙しい人や外国人住民の
利便性が大幅に向上。

令和9年度予算編成について ～未来への投資～



- ・ 捻出した財源は、投資と成長の循環につながる事業（未来への投資）に活用する
- ・ 職員一人ひとりは「稼ぐ」視点で、費用対効果を高めていく

財政課からのお知らせ



提出資料の抜本的な見直し

予算要求関連資料を見直すことで、事務負担の軽減となり、業務の立案等に時間を割けるようにした。



評価手法のアップデート（AIボーナス）

「がんばり見える化予算」の評価に【AIボーナス】を新設。AI活用に積極的に取り組んだ事業や事例には評価点を上乘せする。

令和9年度予算編成スケジュール



「成長と Well-Being が 実感できるまち」へ

AIと調和し、一人ひとりがいきいきと輝く未来の桑名市へ。